

令和5年3月31日

高野山大学長

添田 隆昭 殿

外部評価者・同朋大学文学部教授

山脇 雅夫

2022年度外部評価について

下記の通り、外部評価を行いましたので報告します。

記

「2022年度版高野山大学自己点検・評価報告書」および2023年3月29日に開催された高野山大学外部評価会議における報告に基づき、以下の通り、評価します。

- ・コロナウイルス感染症対応、教育学科新設に対する対応等により、前回の基準協会の指摘に対する対応が遅れたものの、2022年度から内部質保証の体制の立て直しが図られ、外部評価者による評価も実施されるようになった点について、評価できる。今後とも、内部質保証の実質化に向けた努力の継続が望まれる。
- ・年度ごとのPDCAサイクルの起点となる「学長プラン」につき、役職会による審議をへて学長において策定されている点は、内部質保証方針に沿ったものとして評価できる。報告書にある、大学の運営の実態に合わせて、PDCAサイクルの期間を年次ごとから学長任期期間に変更する提案は、現実的なものとして評価できる。
- ・教育課程の評価につき、卒業生アンケートなどのデータをもとにした、教育成果の評価が望まれる。
- ・学生受け入れに関して、報告書において数字に基づく報告がなく、実態が把握しにくい。この点の改善が望まれる。
- ・定員管理の方策について、文学部の各学科、大学院文学研究科のそれぞれについて、報告が望まれる。
- ・大学運営・財務に関して、FD・SD研修について見直しが行われた点について、評価できる。基準協会からの指摘にもある、財務立て直しのための中長期計画の策定が望まれる。

以上